

総合分析

試験区分	一般（前期）
------	--------

制限時間	90分	大問数	全4問
------	-----	-----	-----

合格に要する能力（5段階）



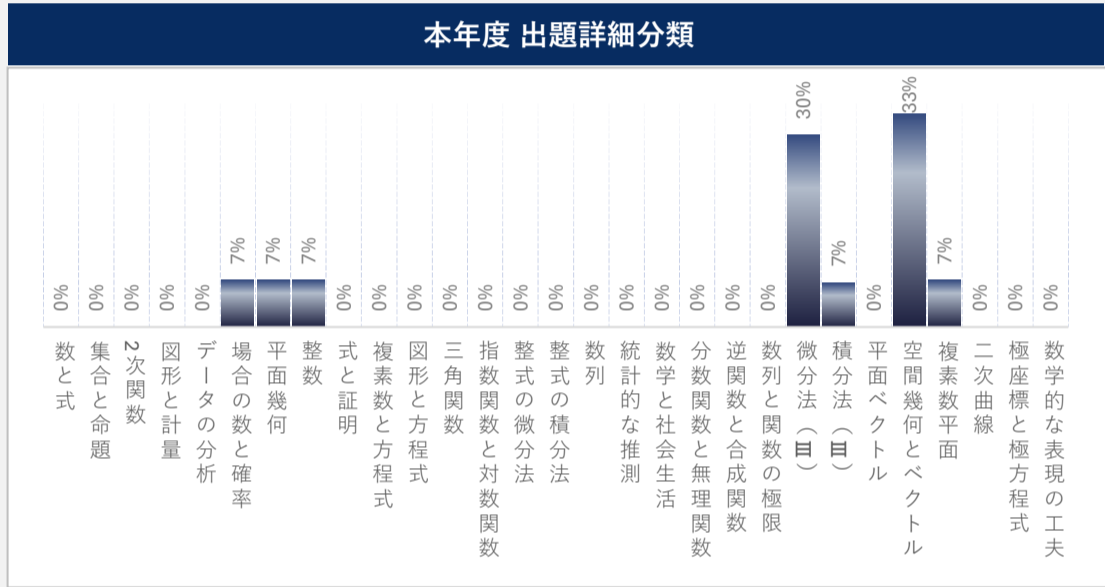
合格に要する能力（5段階）		
計算力	4.0	高度な計算をやり遂げる力
解析力	3.9	問題文を正しく読み取る力
知識力	3.8	解くことに必要な知識の量
初手力	3.7	初手の難しさ
見極力	4.6	解きやすい問題を選択する力

特記事項	特になし
------	------

出題分野	
数学Ⅰ	0%
数学A	22%
数学Ⅱ	0%
数学B	0%
数学Ⅲ	37%
数学C	41%

本年度 解答形式	
論述	78%
答...	

本年度出題テーマ一覧	
第1問	サイコロの確率
第2問	空間ベクトル
第3問	空間の通過領域と回転
第4問	微積分総合



特殊問題の有無	記述あり	証明あり
統計なし	数Ⅲあり	長文なし

総合評価			
難度	4.0	最難を5とする問題自体の難度	難しい
分量	110分	完答に要する時間（制限時間は90分）	やや多い
一次合格に必要な正答率（予想）			55%
正答率をさほど要さない			

入試の特徴と対策
 ▶ 使う知識は難しくないが、計算量が多い。面倒でも常に自力で求値しよう。

入試から見る 大学が求める学生像
 一見すると取り組みやすそうな問題が多いが、大問2の問4など図形的な特徴に気づかなければ相当な計算量が必要な問題も含まれており、取捨選択能力が必要なセットであった。
 また、大問4のように定義から攻める問題も出題されており、穴埋めに特化した学習ではなく、しっかりとした数学力をつけた学生を求めていると考えられる。